

目 次

わが国の建設機械に対する注文	藤井松太郎	1
昭和40年度官公庁の事業概要(その4)		
X. 昭和40年度電源開発計画の概要	伊藤和幸	2
XI. 昭和40年度日本鉄道建設公団事業計画(案)	斉藤俊彦	7
海外建設工事とその展望	川越達雄	10
日本の建設技術の海外進出についての問題点(その1)	河野康雄	16
日本の建設技術の海外進出についての問題点(その2)	北村祐弥	20
日本の建設技術の海外進出についての問題点(その3)		
—東パキスタンの例を中心として—	前田幸雄	23
スーダンの鉄道開発計画	平岡治郎	31
建設機械の輸出の現況と将来の見通し	渡辺一司	36
長崎干拓の事業概要	青野俊一	41
新しく開発された水中締固め均し機	伊丹康夫	46
東京国際見本市見聞記	石川正夫	50
グラビヤー第6回東京国際見本市		
「建設機械化講座」第28回 現場フォアマンのための土木と施工法		
IX. 路盤工(その3)		
2. セメントによる安全処理工法(2)	田中淳七郎	53
「新機種紹介」		
I. 国産 CATERPILLAR (キャタピラー)		
D4D トラクタ	本多忠彦	57
II. 古河の小型クローラショベル CT-3	吉田喜久次	60
III. 西ドイツ・ボマック社製全四輪駆動 振動ローラ BW 200 型	矢延史郎	61
「文献調査」		
ホイールエキスカベータ	施工部会 文献調査委員会	63
「部会報告」		
トルクコンバータに関するアンケート結果について	技術部会 トルクコンバータ技術委員会	65
「建設機械化研究所抄報」		
試験研究報告 (No. 5)	建設機械化 研究所	71
「支部便り」		
第8回建設機械展示会	東北支部	73
ニュース	(編集部)	75
行事一覧・編集後記	(片瀬・野口)	76

◇表紙写真説明◇

CATERPILLAR D4D-LGP トラクタ

キャタピラー三菱株式会社

D4D-LGP (Low Ground Pressure) トラクタは、CAT D4D トラクタをベースに設計された機種で、長時間にわたる厳しいテストから、従来の概念を破る画期的な、生産性、耐久性、経済性が証明されている。

主な特長は次のとおりである。

- (1) 最高出力 66PS のエンジンは粘りと余力がある。
- (2) 本体はユニット構造で、修理時間を短縮できる。
- (3) 独特のカーブアペックス (Curved Apex) 湿地用履板は接地圧が低く、けん引力も強く、土ばなれが良好である。
- (4) 特殊なトランスミッションにより、エンジン出力を有効に発揮させる。
- (5) 重心が低く、安定した作業を可能にする。
- (6) 前後進各5段でサイクルタイムを短縮する。
- (7) 日本人の体格に合わせて再設計された運転席である。
- (8) 永久潤滑のローラやイドラは手入れの手間を省き、足回りの寿命を延長する。
- (9) 耐久性の高い湿式クラッチである。
- (10) ファイナルドライブベアリングを保護するフローティングデュオコーンシールである。

注 詳細は本文 57 ページを参照されたい。